

## チェコチーム 2019.12.9-2019.12.14

### ■千多摩美(東京アンテオケ教会)

主の御名を賛美します！皆さまのとりなしの祈りを心より感謝致します。今回のチェコチームに恵みによって加え頂き、参加できた恵みに感謝しています。教会の歩みが、らせん階段の歩みと語られている中で再び長崎派遣が遣わされた後の初めて実践派遣であり、段階の上昇した神様の働きを見ることが出来ました。今回のチーム派遣にあたっては、遡って1年前に、個人的に海外派遣についてお祈りしている中、示された



派遣でした。神様が私に望んでいる導かれている派遣を教えてください。とお祈りしている時、職場で珍しくチェコの国の音楽が流れてき、もしかしたら、チェコチームが遣わされるかもしれないと思い、導きなら、チームメンバーに加えさせてください。ただ神様の御心がなるように願い、一年祈り備えていきました。

「あなたがたがわたしを選んだものではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。」と語られ、特に、行って実を結び、その実が残るためであり、という御言葉が強く語られました。実際に行く中で宣教の働きが進むのを見ることができる。御言葉が確認となってチームの参加を決めました。

今回、賛美の奉仕と、ブログの奉仕が与えられました。三ヶ国合同クリスマスコンサートでは、4グループの枠が与えられ、色々なジャンルのゴスペルを届ける事が出来ました。神様の臨在が深く注がれ言葉がわからなくても、笑顔になったり、神様の愛、喜びが与えられていると感じ神様を褒め称えました！路上ライブでは初めての場所、有名な観光名所であるプラハ城でゴスペルを歌う事が出来ました。世界各国から沢山の方々に来ており、スマートフォンを向け録画しながら、ゴスペルを聴いてくださいました。永遠の愛やハレルヤを歌った時は、涙を流す方々もおられ神様が働いてくださっているのがわかり、主を褒め称えました。インスタの動画配信も用いられました！

そして、コンサート、路上ライブを通して3人の方がプラハ聖会に来られ、救われる方もおられたそうです！ハレルヤ！ブログの奉仕では、実践派遣では初めてだったので、移動しながら、場所よってのWi-Fiの切り替え等、始めは難しく感じましたが、チームのミーティングの中でも、動画の配信や、ブログは神様の恵みを流す為にとっても重要です。とお話があり、祈りが導かれました。神様の恵みによってブログの奉仕を全うする事ができるように。と祈る中で、神様の助けを感じつつブログの奉仕も守られた事は 恵みの学びの体験となりました。東ヨーロッパから西ヨーロッパへの働きと語られているように、カリスマ、賛美、インターネットを通して更に神様の働きが大きく進むと確信させられる派遣となりました。主に栄光！

### ■仲本悠輝 (TLEA Okinawa True Worship Church)

はじめに

皆様のお祈りを心から感謝申し上げます。私にとって今回が初めての海外宣教であり不安な面もありましたが、直前の11月にタイのバンコクで開催されたアジアキリスト教病院協会総会に参加するため職場から派遣され、慣れない海外渡航に対するプレ派遣となり大きな易となりました。それまでは中学生の頃の第7回イスラエルチームが唯一の海外渡航経験でした。



派遣に至るまで

以前よりヨーロッパへの派遣、特にチェコチームにまず行くよう示されていましたが、中々機会がありませんでした。そんな中チェコチーム派遣の情報が入り、すぐに申し込みました。さらに、現地のコンサート責任者のご好意によりなんとコントラバスを貸してくださるとのことでした。その数ヶ月前に8月のこころゴスペルへの出演依頼がありましたが、今回は断ってその分の費用を海外宣教のために用いるよう示されて事前に用意していたので渡航費用も満たされる形となりました。職場においても、12月の年末調整等の繁忙期に1週間も休むので難しい状況でしたが快く送り出してくれました。

3ヶ国合同クリスマスコンサート

聖マルティン教会にて行われた3ヶ国合同クリスマスコンサートに出演しました。まず現地の方々によるパイプオルガン、弦楽四重奏等による器楽演奏、歌唱に続き、続いて日本から4組が出演しました。特にマラナタ教会の方のソロで“Silent Night”、“Amazing Grace”がとても素晴らしかったです。

今回は選曲にあたって学びがありました。なかなか選曲が決まらずプログラムは“未定”でお願いし、とうとう当日になってしまいました。先日痛めた指の腫れが悪化し痛みが激しかったので、指に負担の少ない曲を考えましたがはっきりしませんでした。すると当日の早天祈祷会の最中、ささやくような声で“Amazing Grace”と何度か聞こえてきたので、まさかこの曲なのかと思いましたが、午前のリハーサルで候補曲を弾いてみて吟味することにしました。まず候補の2曲を弾き臨在があまりなかったのですぐに違うとわかりました。最後に“Amazing Grace”を弾くと臨在が明らかに違い、弾き終わり顔をあげると目の前で号泣している方が見えたのですぐにこの曲だとわかりました。

本番会場は非常に寒く指を動かすのがやっとなで指の痛みも相まって最悪のコンディションでしたが本番では主が助けてくださり、観客の反応も拍手が鳴り止まなく「Bravo!」との声もありました。また、ある方がこの曲に強く反応し証を何度も私に話されていたのが印象的でした。主が人々に触れてくださっていました。主に慎重に確認して御心の曲を選んで良かったなど実感した出来事でした。ヨーロッパで演奏することについては高校生のころ語られた預言の成就でもあります。

路上ライブ

最初にプラハ城にてライブしました。深い臨在があり、聴衆の中にはある曲と一緒に歌い涙ぐんでいる方もおられました。全体的に臨在と力のある路上ライブでした。次のカレル橋ではプラハ城とは違い桁違いに霊的な圧迫を受け、私が体験した中でこれまでにないレベルで身の危険を感じました。海外宣教で殉教が起こってくるのもわかる気がします。ライブとしては最後まで振るわない印象でした。しかし、次の日に再びカレル橋に行くと前日の最悪な霊的状况が無かったかのようにクリアになっていました。賛美隊を通して主が勝利を表されたのだと理解しました。臨在も人々の反応も前日とは全く逆転していました。

ウクライナ人教会での聖会

前田牧師の奥様が癒されたことについての証が感動的でした。その場で聞いておられたマラナタ教会のミハエル牧師が奥様も同じ病の状況とこのことで、是非奥様に話したいと感動に震えながら語っておられたのが印象的でした。

プラハ聖会

最初の会衆賛美から強い臨在があり、素晴らしい聖会でした。路上ライブを通して来られた方々もいて会場は満席でした。秋元牧師のメッセージでは十字架の福音が語られ、癒しの祈りを通して癒しが起き、救いの招きでも幾人か応答があったとのことでした。これが今回の中で最も嬉しい出来事でした。主に感謝します。

おわりに

献身的に現地で手厚いおもてなしをしてくださいましたサリー宣教師をはじめ、プラハ教会、マラナタ教会、ウクライナ人教会の皆様に深く感謝申し上げます。